様式第１号

耐震診断等概要表

１ 建 物 概 要

建築物の名称　（棟番号）	
用途、建築面積、対象面積	用途（　　）建築面積（　　㎡）対象面積（　　㎡）
建築年月日、構造、階数	
建物所有者名	
建物所在地	
評価区分	□耐震診断　□耐震補強計画　□総合判定
基礎、地盤条件	
構造上の特徴	平面（□ほぼ整形・□不整形）、立面（□ほぼ整形・□不整形） 構造形式（X 方向：　　Y 方向：　　） 極脆性柱(□有.□無)、下階壁抜(□有.□無)、平面柱抜(□有.□無)、PCa 屋根(□有.□無)

２ 診 断 方 針

診断法（計算法）	□第 2 次診断、□第 3 次診断、□屋体診断基準、□応答解析、□その他(□手計算、□電算機)
電算ソフト(ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ)/(作成者)	
診断実施者（会社名、氏名、資格）	会社名　　氏名　　（１級建築士登録番号：第　　号）
連絡先住所（TEL / FAX /E-mail)	住所： TEL：　　FAX：　　E-mail：
診断実施年月	平成　　年　　月
材料調査：調査値（ｶｯｺ内：標準偏差） 設計値、診断使用値等 （全標本中の最小と最大を記す）	ｺﾝｸﾘｰﾄ：調査値=　（　）～　（　）設計値（Fc）=　　診断使用値=　～　（N / ㎟） 鉄筋：　　設計値（σｙ）=　　診断使用値=　（N / ㎟） 鉄骨：　　設計値（σｙ）=　　診断使用値=　（N / ㎟）

３ 診 断 結 果　（Is、CTU･SD 又は q･ ST を＊欄に付記し、所見を記入。Iso との関係等を記入。）

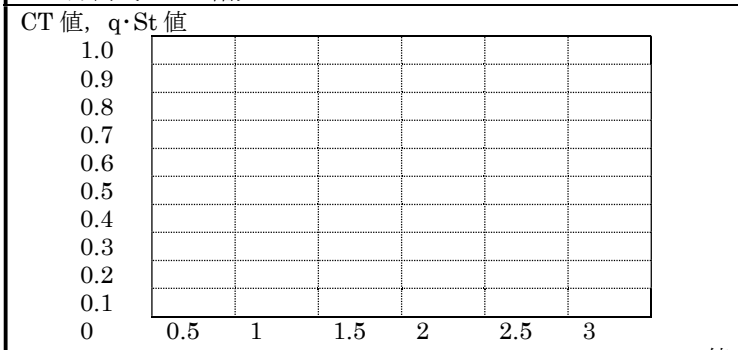
	現状（補強前）				補　強　後				（調査および診断に関する所見）
	X 方向		Y 方向		X 方向		Y 方向		目標値： Iso=　CTU･SD =（ q･ST）
構造上の階数	Isx	*	Isy	*	Isx	*	Isy	*	
5　F									
4　F									
3　F									
2　F									
1　F									
最小値									

４ 補 強 計 画　（補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Iso との関係等を記入）

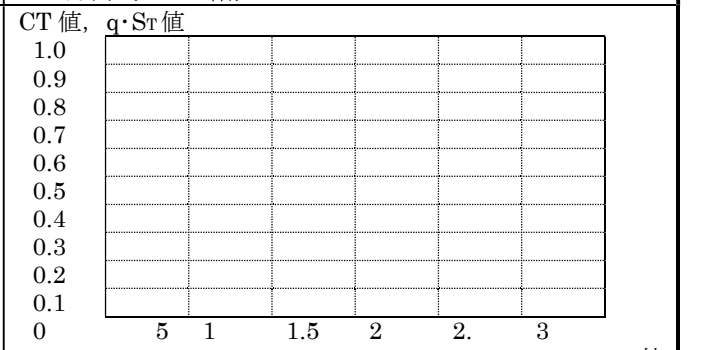
構造上の階数（PH は補強の有る場合に記入）	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他（　）	（補強に関する所見） 目標値： Iso=　CTU･SD =（ q･ST）
5　F													
4　F													
3　F													
2　F													
1　F													
合　計													

５ 付 図　（補強前後の代表階の①CT - F 関係、主要の CT 値(RC 造)、又は ②q･ ST 値(S 造)、及び Iso の線を記入）

X方向〔　　階〕



Y方向〔　　階〕



６ 備　考

※原則としてコンクリートのコア抜きは各期、各階３本以上とする。